

介護老人保健施設ライフサポートひなた

砂金 実歩 ケアマネジャー

功 績	1社体制であった訪問歯科を入居者の状況、要望を把握しつつ、2社目を入れる事により、利用者さんやご家族の選択の幅を増やし満足度が向上した功績。
推 薦 者	下島 右資 (職種 支援相談員 / 所属部署 事務部)
推 薦 理 由	ひなた内外に貢献し、模範となる行動をされていた為、理事長賞に推薦させて頂きました。

内 容

ケアマネジャーとして、砂金は2024年3月に退職する前任者の後任として入職しました。砂金は施設ケアマネジメントの経験は浅いものの、入職後すぐに入居者さんの状況を把握することに努め、ご本人の状態を理解しながら、ご家族の想いをコミュニケーションを通じて感じ取り、それをケアプランに反映させていきました。その中で、特に口腔状態に着目しました。

当施設の歯科診療は長らく1社体制で運営されていましたが、患者さんに対する選択肢の限界や診療の質向上の必要性を感じ、新たな歯科を探し始めました。2024年5月から交渉を開始し、同年9月には新たな歯科B社を招き入れ、2社体制を実現しました。A社は精密な治療技術に特化し、難易度の高い治療を提供。一方、B社は予防歯科や教育に力を入れ、日常的なケアを重視しています。この結果、入居者さんの状態に応じた多様な選択肢を提供できるようになり、利用者さんごとの口腔栄養状態の改善につながり、ご家族からの満足度も向上しました。

この取り組みは、老健にとって入居者さんやそのご家族に柔軟で信頼できる診療体制を整え、安心感を高めることに寄与しました。また、職員にとっても相互刺激が専門知識や技術の向上につながり、職場環境の改善にも寄与しています。

さらに、プライベートでは新米の母として育児をしながら働くワーキングママとして、私生活と仕事のバランスをうまく取りながら就業しています。

砂金は、入居者さんのために貢献できることを探求し、施設全体の信頼性を向上させる機会を得ました。今後も、入居者さん、ご家族、職員がともに満足できる新しい体制を基盤に、質の高い医療サービスを提供し続ける姿勢が他の職員の規範となっていることから、理事長賞に推薦いたします。